

○到底リツマ
 ○減水ミツ
 ○創立
 ○支倉
 ○勉勵
 ○温柔
 ○薄
 ○宗教
 ○洋教
 ○繁劇
 ○山莊
 ○壯觀

○第三條前條ノ外毎年二月八月十日ヲ以東京ニ會同ヲ開キ
 細大ノ事務ヲ決定スヘシ(但非常ノ大事件アルハ東京社員ヨリ各社
 ニ報知シ臨時會同ヲ催スヘシ)○第四條右ノ會同ニハ各縣長必ス出席
 スヘシ其他ハ各縣ノ適宜ヲ以テ社員二三名ヲ出スヘシ(但シ各社長若
 事故アリテ出京シ難キハ代理人ヲ出スヘシ)○第五條至急決議スベキ
 事件或ハ建白スヘキ事件等アリテ二季ノ會同ヲ俟ツ能ハス臨時會同ヲ
 催スノ暇ナキハ在京社員協議ノ上之ヲ處分施行シ速ニ各報告スヘシ
 ○第六條各縣結社ノ体裁規則會議ノ方法施設等ノ如キ其民心風土ノ宜
 キニ隨テ之ヲ處分シ二季會同ノ節互ニ之ヲ照會スヘシ(但各縣其社員
 ノ名簿ヲ作り會同ノ節其増減ヲ報スヘシ)○第七條交際親愛ヲ厚フスル
 爲メ各縣社員互ニ相往來通信シ及ヒ各縣社決議ノ事件モ亦相報告スヘ
 シ○第八條我輩既ニ至誠自ラ信シテ此社ヲ結ビ各其通義權理ヲ保護伸
 暢セント欲ス故ニ宜ク常ニ勉強忍耐シテ假令艱難憂戚百挫千折スルモ
 敢テ少モ屈撓スルコトナク終始一致勉焉トシ倦サラントナ要ス於是運署
 調印各其他ナキヲ表スル也
 頃日横濱ニ一社ヲ立ツ鶯鳴社ト稱ス其出席スル社員戸塚早矢仕木村本
 多以下廿餘名未ダ其社務何ノ事ナルヲ聞カズ或ハ云瓦斯訴訟ノ和解ヲ
 謀ルニ非ラサルヲ得ンヤ等ノ說アリ
 近ゴロ腰脚ヲ露ハシ罰金一圓ヲ科セラレ償フヲ得ズ十日ノ懲役ノ實決
 ニ處セラレ者アリ府下湯島新花町長谷川熊吉
 朝鮮釜山浦ニ在ル我貿易品ハ雨傘ヲ以テ最モ多ク出ツト云フ其筑前近
 傍ニ出ツル品更ニ宜シ

○巢窠
 ○軍人
 ○頒布
 ○開拓事
 ○炭坑開鑿
 ○歸
 ○朝
 ○發
 ○誤
 ○認

千葉縣下各宗寺院ノ總數ヲ聞クニ凡三千十六内天台四百真言千四百淨
 土百七十曹洞三百臨濟七十黃蘗五日蓮八百真宗卅五時宗五所屬未定一
 ケ寺ト云フ
 警視日夜報竊盜訴七十四戸同捕縛三人強盜訴一戸犯罪送致十二人迷兒
 一人出火消留一戸
 十三日 日曜日 晴
 正午寒暖計六十四度
 府廳新公債掛十一名ヲ雇フ其事繁劇ナルニ由ル
 昨十二日河村海軍卿花房外務大書記官ヲ延遼館ニ饗ス寺島外務卿主ニ
 當リ三條太政大臣伊藤内務卿其他貴紳數名參會ス
 支那政府鎮臺兵ヲ臺灣ニ出ス其國民同國官吏ニ抗抵スルノ故ナリト云
 下總國印旛沼ノ漁船生功丸當月十九日ヲ以テ開業同沼ヲ往復ス
 大井河ハ東海道ニ在リ曩キニ假橋ヲ架セリ毎ニ水害ニ罹ル因テ有志費
 金ヲ募リ堤防ヲ堅クシ本橋ヲ架シ其流失ヲ防カント謀ル又其日坂小夜
 中山ハ坂路崎嶇行旅運輸ノ便ヲ欠ク是レ亦山麓ヲ鑿開シ車馬ノ通路
 ヲ便セント但シ架橋落成ノ日ハ其見込向ッ六ヶ年ノ久シキニ涉ルト云
 金澤景況金澤ハ北陸第一ノ大市石川縣廳ノ在ル所袤延一里戸三萬コシ
 テ人口十萬ヲ踰ニ其街市ノ概略ハ屯營裁判所ヨリ以テ商家ノ構造ニ至
 ルマテ廣大美麗殆ト都下ニ亞グ而シ人民生活ノ模様ハ氣風温順ニ少
 シク進取ノ氣象ト自治ノ精神ニ於テ欠ク所アルヲ覺ニ蓋シ藩治ノ餘習
 今ニ存スル者カ唯賣藥ノ盛ナルニ至リテ驚クベキアリ富山ヲ進チテ行
 商ノ數三萬ヲ踰ヘ一歳ノ収獲二百萬圓ニ及ブト云フ所謂越中富山ノ反

乘

長湊地ヨキミ
 ナ起稿ハカキ
 ○社則ナカ
 キマ通義
 リマヘノ交
 スデミチ
 際アヒ親愛
 シタシミカ
 アイガル
 研究ハガキ
 ○協議サウ
 各意同主
 ノリヤウケ
 デオナツシ
 イ本分モナ
 ○義務ナラ
 ナラヌ

魂丹ナル者當今ノ設立ニ係ル繁盛ノ者文學工藝其一ニテ舉クレバ勸業
 博物館(人民ノ私立ニシテ縣廳ノ補翼ヲ仰ク者)金澤病院(最前官ノ補
 助ヲ仰ギ今公立ニ屬ス)男女中學校(縣立)第一男女小學師範學校(公
 立)而シテ製糸會社、製糖會社、製鐵會社、製鋼會社ノ類ナリ此三社ハ全ク私立ニシテ他
 補翼ヲ仰クコトナシト云フ而シテ尙ホ奇觀記スヘキ者ハ公園ナリ園兼六園
 ト稱シ舊城ノ西北ニ在リ地位高爽又泉水ニ富ム瀑布噴泉共ニ源ナリ
 ノ上流ニ發ス其間樹木鬱蔥巖石突起ス西北河北瀉ニ瞰シ右臥龍山ヲ負
 ブ其山角ヲ隔テ、寶達山ト遙々相對ス實ニ天然ノ美景添ルニ人造ノ工
 夫ヲ以テ一層ノ觀ヲ增セリ園ハ元ト舊藩主ノ別業ニシテ名ヲ洛陽ノ名園
 記ニ取ルト云フ名園記ニ曰ク洛人云園圃之勝不能相兼者六、務宏大者
 少幽邃、人力勝者少、著古、多水泉者、艱眺望、兼此六者惟湖園而已此園實ニ
 名ニ憚フ者ト謂フベシ
 高知小池縣令本月二日舊姓渡邊ニ復ス
 警視日夜報竊盜七十八戸同捕縛八人犯罪送致十三人人命救助一人變
 死一人強盜二戸同捕縛二人迷兒二人出火消留一戸
 十四日 月曜日 陰雨 正午寒暖計六十三度
 川村海軍卿本日ヲ以テ常務ヲ執ラレ
 一昨十二日太政官巖谷大書記官歸京曩キニ急事ヲ以テ金澤行在ニ在リ
 又炭礦社社長後藤象次郎着京
 前四五日天城艦ニ歸航ヲ命ス同艦ハ朝鮮沿海ニ在リテ測量ス爾來艦中

ヲト○福祉
 ヲ對峙ナラ
 ○屹立タカ
 ○數次シセ
 ○形勢アリ
 事情ガト
 報知セル○非
 常ラミナ
 適宜ツガ○事
 故ワケ○二季
 二月八月○名
 簿ナマヘ○増
 減マシ○通信

病者多ク且ツ冬季西風ニ堪ヘ難キヲ以テ向ギニ上申ヲ爲ス是ニ至テ此
 ノ命アリ
 赤坂皇居新築ノ議アリ聞ク其構造舊古ニ復スト
 在外會計部大綱定例既ニ整頓不日各地鎮臺ハ頒布スト例ハ陸軍省ノ撰
 淡路國ニ産出スル總糸ハ多ク琉球諸島ニ輸スト故ニ本年ノ豐熟モ價格
 ニ響カズト云フ大略琉球行第一等十貫目三十圓西京行二十八圓近傍諸
 國ニ出ス者下等廿六圓ナリト
 福島縣廳近日白河舊城地ニ移轉スト
 岡山縣既ニ去ル七日ヲ以テ區畫改正郡長撰擧ヲ行フ被撰人舊池田藩士
 族十中ノ九ニ居ルト
 薩國ヲ西南ニ距ル凡百五十里大島アリ鹿兒島縣ニ屬ス周回凡九十餘里
 其概況時五月ニシテ寒暑針九十度以上五十度以下ニ昇降スルヲアリ道路
 不潔ニメ家屋粗惡言語ハ男琉球語ヲ交ヘ女支那音ニ近シ體貌ハ顔圓ク
 髮黑シ男子ハ鬚髮結髮相混ズ其結髮スル者ハ笄ヲ以テ其端ヲ支フ女ハ
 毛髮殊ニ多ク團結亦笄ヲ用ユ服ハ窄袖足ハ徒跣概シテ土地沃饒ニシテ人
 民惰弱ナリ
 芝七軒町仙場德次郎ナル者篤厚ノ商賈ナリ久ク思テ工織ニ費シ曾テ仙
 場織ト稱スル氈ヲ開織シ輸出品ニ供ス官之ヲ奇トシ外國人モ亦賞ス嗣
 後又一ノ絹織ト稱スル者ヲ發明シ專ラ「ラッコ」皮ニ換用ス一見ニ過キ
 サレハ實物ノ如シ内外ノ人爭テ帽子マシタル其他婦人ノ服ニ供用ス工
 場ハ芝山内ニ在リテ多ク士族ノ子女ニ習ハスト云フ
 府下乗合馬車近ク規則ヲ定メ大小ノ三等ニ分ツノ議アリト

日 乘

オトツ ○至誠
マコトノ ○忍
コハロ ○愛
耐ノタヘン ○愛
威ウレム ○百
挫千折 ○イ
ル ○屈擣 ○イ
ム ○和解 ○キ
ク ○腰脚 ○モ
ス ○實決 ○ウ
ケル ○總數 ○ウ
ツミ ○カズ
カズ

房州嶺國ノ種畜所ハ勸農局ノ所轄昨十年中産スル所ノ馬五十頭牛廿四頭原數ニ加ヘテ五百三十一頭ナリ前年ニ比シテ七十頭増ス
府廳遞減祿ヲ朱引内外ノ社寺ニ下付ス但シ幕府ノ朱印ヲ持テ明治七年下付殘餘ノ分ニシテ八百十二寺ナリ合金五萬百八十七圓三十八錢四厘此内譯七年分三步渡ノ高一萬九百八十五圓六錢五厘八年分五步渡ノ高一萬五千五百四十三圓六十五錢一厘九年分同高一萬二千五百五十六圓十五錢五厘十年分悉皆渡シ切リ一萬七千三百九十八圓四十七錢三厘
警視局日夜報竊盜訴六十六戶同捕縛七人犯罪送致四人強盜訴一戶迷兒一人出火消留一戶

十五日 火曜日 雨

正午寒暖計六十六度

府廳頃日區署改正郡區役所ノ位置等上申ス併ニ圖面ヲ添フ又新ニ府内銘酒屋ニ鑑札ヲ下付ス其販賣スル釀造瓶是迄升目ヲ檢スルナキヲ以テ今數量ヲ記シテ何斗何升入トナスト云フ
海軍觀象臺瓦斯ヲ引接ス其費用三千五百圓餘ト云
去十一日夜三河地方暴風雨大水豊川橋ヲ落ス
本日竹橋暴徒ヲ刑ニ處ス暴徒ハ近衛砲兵ニシテ八月廿三日夜半ヲ以テ事ヲ竹橋内ニ發ス爾來糾問四旬餘ニ亘ル終ニ本日ヲ以テ軍律ニ處セラ
ル共計二百六十三人内死刑五十三人准流百十八人徒刑六十八人戒役十七人杖一人銅六人刑場ハ深川越中島ニ在リ病者ハ與他ハ皆車ヲ以テ前三時三十分愛宕下監倉ヲ出テ刑場ニ護送シ一列十五人一時ニ十字架ニ

ア ○瀛船 ○ウ
セ ○往復 ○キ
○崎嶇 ○ハ
○行旅 ○ト ○運
○輪 ○モ ○ト ○モ
○鑿開 ○ラ ○ヒ
○落成 ○ガ ○キ
○大市 ○オ ○キ
○豪庭 ○サ ○ヒ
○概略 ○マ ○カ
○造 ○カ ○ト ○屯
○臺名古屋嶺 ○

倚セ銃殺ス死体ハ青山陸軍埋葬地へ送ル
名古屋屋景況此地東西一里三町餘南北一里三十二町餘愛知縣廳此中央ニ在リ裁判所ハ本町一丁目昨今新築ノ功ヲ竣へ宏壯美麗ナリ戸數三萬九千三百七十七ノ人口十二萬八千四百五十四警察事務ハ頗繁多然レモ竊盜収役ハ他ニ比シテハ稍少シ違式註違ニ觸ル者亦少シト云フ
兵庫縣下但馬國ニ四少年アリ皆出石東條町四丁目ノ者去ル日相引テ山ニ入リ栗ヲ拾フ山鍛冶屋村ニ在リ與山ト稱ス少年與ニ乘シ深ク入り遠ク行ク乍チ光輝閃々金ノ如ク玉ノ如キ者遙ニ溪谷ノ間ニ見ルアリ少年其何物タルヲ知ラズ石ヲ取テ之ニ投ズレハ何ア圖ラン先キ閃々タル者ニ袖ニスル栗ヲ捨テ足ニスル履ヲ脱シ奔忙僅カニ身ヲ以テ逸ス漸ク山麓ニ到リ偶願ミレバ同行三人ニ一ハ欠ク因テ又大ニ懼レ那ノ動靜如何ヲ知ラズ乃チ顧慮スルニ暇アラズ又馳ヒテ家ニ歸リ事ヲ近隣ニ告グ即衆相擧テ山ニ入り竹槍未耜ヲ以テ勢ヲ助ケ漸ク進ミ大イニ呼フ之ヲ頃クシテ山頂ニ聲アリ衆聞テ逝矣其然ラント迂路ハ直行荆棘ハ猛進メ遂ニ其處ニ到ル到レバ則チ果ノ然リ衆大イニ喜ビ其顛末ヲ問フ少年冷笑ノ曰ク諸少年膽小ニシテ智淺シ生ハ身ヲ松枝ニ托シ其追フチ視ル其周圍凡ソ二尺餘耳ノ大サ犬ニ等シ追フ極メテ捷シト語氣平々顔色自若狀態常ニ異ナルナシ而シテ先キノ三少年歸來直ニ枕ニ就數日間起ル能ハズト云フ古來大蛇ヲ見レバ皆病ムト云フ者唯其ノ己ノ氣ニ由ル耳警視日夜報竊盜訴五十九戶同捕縛七人犯罪送致四人強盜訴一戶迷兒一人出火消留一戶

日 乘

温順 オレシシトスナホテ
 ○進取 進ノ中
 ナス ○自治
 ナリマワシ人
 ナ頼ノミ ○藩
 ニセヌ ○治大名ノ
 治セイチ ○餘
 習ノコツ ○行
 習タシセ ○収
 商フテアキ ○設立
 獲 アケ ○補翼
 トリ ○最前
 ケ ○公立人民
 サ ○公立人民

十六日 水曜日 快晴 正午寒暖計六十四度
 勸農局所官一名ヲ椽木福島岩手青森宮城ニ派遣フ農牛購求ノ爲メ
 大藏省古一分銀六千五百圓ヲ第三國立銀行ニ購フ
 桑原平八氏内務省御用係ヲ拜シ庶務課ニ出仕ス氏ハ高知縣士族養キニ
 國事犯ノ嫌疑ヲ以テ官ニ拘留セラル酒井三次保釋ヲ乞テ管守ス爾後審
 理ノ末無罪放免ニ歸ス而シテ未ダ幾クナラサルニ此命ヲ拜スト云フ氏ノ
 鬱胸ヲ開ク想フベシ
 頃ハ機那コヒヒ等ノ苗ヲ小笠原島ニ植ルノ議アリト聞ク
 中立社ハ高知ニ在リ今之ヲ廢セントス其主旨ニ曰ク
 各歲西南ノ警報吾州ニ達スルヤ議論紛々人心洶々殆ント風中ノ旗ノ如
 ク誠ニ不安ノ勢アリ故ニ同志相謀リ海カ 皇家ニ報スルアラント欲ス
 是レ本社結立ノ主旨ナリ然ルニ實功未ダ舉クルニ違アラズ逆賊己ニ誅
 ニ伏シ紛々ノ論洶々 心隨テ安堵ニ就木州無事ニ止ム者亦大幸ト云
 フベシ今ヤ人心漸ク平和日ニ開化ノ區域ニ進ミ疾視暴言ノ蠻風口ヲ退
 テ跡ヲ絶セント欲ス之レヲ前日結社ノ時ニ比スレバ勢ヒ大イニ殊ナル
 者アリ如今吾人ノ勉勵從事スベキ者特リ學問也就産也夫レ學ノ成ル亦
 産ノ成ルニ依リ産ノ成ル亦學ノ成ルニ依レリ故ニ學問就産ノ道ハ
 相待テ而シテ成ル故ニ自今以後只空言虛論ニ流レズ學問就産ノ一途ニ着
 目シ實學ヲ主トシ實利ヲ起シ先ツ一身一家ノ獨立ヲ謀リ然ル後漸クニ
 他事ニ及ボサント欲ス是ヲ以テ更ニ胸襟ヲ闊大ニシ區々中立ノ社号ヲ
 廢シ學ハ則意ノ注ク處ニ就キ産業ハ即チ益々盛大ヲ謀ラントス其方向
 ノ如キハ確乎初志ニ違ハザランコト欲スト云爾

チ ○燃糸 ○奇
 觀 キミソ ○兼
 六園 ○舊城
 モトノシ ○地
 ロアト ○高爽
 位ヨシ ○高爽
 カキヤカナ
 カキヤカナ
 ○瀑布 ○噴
 泉ワキキ
 上流カハ
 葱モリ ○突
 起ツキ ○美景
 ヨキケ ○人造
 シンギ ○人造
 ノンゲン ○舊

或人一社ヲ築地ニ設ケ品瑩吐ト名ケ專ラ紅綠玻璃ヲ製シ絃燈用ニ供シ
 尙硝子器具ニ製出スト云抑我國始メテ着色ノ玻璃ヲ製シハ薩摩鹿兒
 島ヲ以テ嚆矢トス就中紅色ノ製最モ難シトス前大守順聖公四本龜次郎
 ニ命シ之ヲ製セシム氏自家ノ工夫ヲ尽シ遂ニ之ヲ發明セリ爾後同縣平
 民皎結彌行衛門其遺法ヲ繼キ刻苦數年又其精ヲ得テ目下ノ至具タル絃
 燈ヲ製スルニ至レリト此業今一層ノ歩ヲ進メハ輸入ヲ拒クノ一品ナラ
 宮城縣ニ少年賞賜ノ事アリ同縣下牡鹿郡根岸村宇渡波村平民津田八五
 郎次子力助(五年五月)同所平民氏家松九郎長男兵助(四年六月)同
 姉いち(六年六月)ノ三小兒阿部養作ノ長女なほ(四年四月)ト提携携
 遊戯ノ際ニ誤テ路傍ノ井ニ落ツ三兒大ニ驚キ急忙就テ之ヲ視レバ浮
 沈出浴井中ニ苦悶ニ因テ二兒急ニ汲器ヲ吊シテ之ニ倚ラシメ兵助ヲ
 なほノ家ニ告ケシム即チ松五郎來テ之ヲ救ヒ遂ニ死ニ至ラザラシム官
 之ヲ聞キ其處置ノ當ヲ得タルニ感シ内務省ヲ經伺シ三兒ニ各金一圓ヲ
 賞與スト云フ
 昨明治十ヶ勸農局出ス所ノ職遊覽免許鑑札一局二府廿八縣ノ共數三方
 ハ千二十枚内皇族遊獵鑑札三枚収稅ノ金額三萬八千七百五十五圓外國
 人ニ授與スル者六十三枚稅金六百六十圓此他尙精覈ノ申牒ナキモノ堺
 山形島根山口大分熊本鹿兒島七縣
 警視日夜報竊盜訴十三戸同捕縛五人犯罪送致八人變死一人強盜訴一戸
 殊兒三人出火消留一戸
 十七日 水曜日 晴 正午寒暖計六十四度

藩主名即加州大
 侯別業ハナ
 キ○浴人云○
 園圃之勝ハ
 ノケ○相兼
 シキ○宏太
 スル○大
 タイソウニ
 オホキシ
 幽達シカ
 カ○人
 蒼古ケル
 名ニ歴フナ
 リ○舊姓モト
 氏○復スモト
 苗

開拓使物産局試製ノ麥酒無稅販賣ヲ許サル該製船載品ニ優ル但シ其釀
 法獨逸ニ倣フト云フ
 長坂陸軍中佐項日砲兵會議員ヲ拜ス
 昨十六日陸軍伍長三十名東京鎮臺步兵分隊長ノ命ヲ拜ス
 昨午後大坂府渡邊知事歸府東京ヲ發ス
 横港在留清人鮑坤興ナル者婚ヲ我國人ニ結ハント同國領事ニ請フ配偶
 ハ同地長者町八丁目住富岡源兵衛ノ女名ハ兼其書ニ曰ク
 右坤興申上候私儀廣東省廣州府香山縣ノ者ニシテ現今橫濱外國人居留
 地一百五十七番地ニ住居セリ東洋渡船以來橫濱ニ來リ生計ヲナスコト既
 ニ多年ヲ歷嚮キニ縫針ノ人ヲ需メテ日本人兼女ナル者ヲ得備テ假リニ
 内事ノ補助ニ充タルニ甚ク力ヲ得タリ今度彼ガ父母私ノ誠實ヲ尙フテ
 見テ依頼スヘキ者トシ永ク該女ヲ稼シ坤ト夫妻ヲナシ其終身ヲ主
 ラシメ百年偕老ヲ致サシメテ願ヒ該兼女ニ於テモ其意之ヲ樂ミ相
 從ヒ志節ニ有ラズ因テ業ニ媒妁ヲ倩フニ林值春ナルモノニ任シテ撮合
 倡ヲ賦ス然シテ坤惟フコ例規須ラク地方官ニ報明スベクシテ嚮キ日本
 官廳如斯案ヲ成セシヨアリ伏テ乞クハ 仁憲文ヲ神奈川縣ニ移シテ結
 婚ノ証ヲ恩給セラレハニ至ラシメラレバ坤待テ以テ憑據トナシ他日子
 女ヲ携ヘテ同ク鄉國ニ旋リ上ニ慈親ヲ慰メ祝ヒ實ニ涯リ無キ頂カ
 此ニ請願ヲ書シテ 理事府大老爺ノ台前ニ赴ク恩ニ施行ヲ准ルサレヨ
 光緒四年九月初一日
 鮑坤興
 陳端章
 保證人

十四日○常務
 フダノノ急
 ツトメ
 事ヨウジ
 歸航カヘル
 沿海ウミ
 量土チチ
 冬季フユノ
 舊古ムカシ
 整頓デキア
 頒布ワケリ
 認系○豐熟
 ヨキ○價格
 デキ○城地
 ノ○舊

謹テ生年月貫籍姓氏ヲ書シ呈ス閱覽ノ上其筋へ移送セラレシコト乞フ
 右己亥年七月初四日良辰ニ生ス 鮑坤興
 千里軒社長由良氏淺草舊佐竹邸ヲ借牛馬羊豚ノ市場ニ供用セント頃日
 官ニ乞フ
 喜内良安赤坂新町五丁目ノ住年七十接骨術ヲ以テ業ト爲ス頃日廣告紙
 ナ近傍園圃板壁ニ貼付スル科ヲ以テ罰金若干ヲ科セラレ
 役内丸山佐吉病父老疾看護者ナキヲ以テ同父ノ請ニ依リ老疾収贖例ニ
 照ラシ十四圓四錢ヲ科シ放免ス同人ハ強盜懲役五年ノ囚ナリ
 警視局日夜報竊盜訴七十八戸同捕縛二人犯罪送致十六人人命救助四人
 變死二人強盜訴一戸迷兒七人出火消留二戸
 十八日 金曜日 晴 正午寒暖計六十八度
 華族學校學習院ハ神田錦町ニ在リ昨日開院ノ一週年ヲ以テ祝宴ヲ開ケ
 リ祝辭ヲナス者華族會館ノ貴紳同院教官等演說ハ神田文部太輔加藤弘
 之中村敬宇ニシテ舞樂歐洲樂アリ
 西郷中將佛國貴紳シフレ一氏等ヲ小石川砲兵本廠ニ饗ス野津山田兩陸
 軍少將赤松海軍少將岡渡邊兩中佐陪宴後市ヶ谷士官學校其他竹橋内
 兵營ヲ視ス事ハ昨日ニ係ル
 一昨十六日皇后宮英國公使夫妻ヲ延見ス其妻ノ歸國スルニ因ル
 昨十七日午前十時二十分地震震器西北西及東南東ノ指針ニ於テ震力
 一度ヲ示セリ
 警視局昨日ヲ以テ出席時限ヲ定ム午前九時ヨリ午後三時ニ至ル
 内務省地誌課大日本樹木史略ヲ刊行ス

日 乘

モトノシ ○移
 ロアト ○被
 轉ヒキウ ○被
 撰入タヒト
 ○周回
 ○昇降
 ○不潔
 ○粗惡
 體貌
 髮
 カミチ ○結
 ユフ ○結
 マロ袖
 ○徒跣
 沃饒

陸軍教導團步兵大隊中第二第五中隊生徒卒業試驗ヲ畢ル聞ク總ヲ下士
 官ニ採用スト
 西京靈山招魂例祭ヲ行フ十四十五ノ兩日ニ終ル
 七月中各港輸出米麥ノ共計ヲ開クニ米九百七十四萬七千六百三十九斤
 (此金廿四萬三千六百四十九圓九十四錢)麥三百九十四萬九千七百七十二
 斤(金七萬二千八百八十六圓七十一錢七厘)ナリト
 越前福井ノ景况福井ハ同國第一ノ大市戶數一萬八千四百餘ニ超過ス街衢
 壯麗商舖具備物産ハ專ラ奉書袖ニ在リ製糸之ニ亞シ廢藩以後商況一變
 大ニ收縮ノ有様ヲ現シ細民多クハ其業ヲ失フニ至ル是レ古來貿易進取
 ノ道ヲ知ラズ唯藩士ニ頼テ專ラ舖頭ニ利ヲ獲ルノ弊カ士族ノ婦女又紡
 織ニ從事ス然レモ同業夥多工銀漸ク低シ一月一機即チ六疋ヲ織成シテ
 纒ニ二圓内外ニ居ル少シク金澤ト其景况チ一ニシテ官衙兵營ノ繁盛ナ
 キヲ以テ其優劣ヲ判スベシト云フ
 物ノ輕重ヲ知ルル人アリ事東京日々新聞ニ見ユ採録シ一夕ノ茶話ニ供ス
 滋賀縣下近江國堅田在ナル普門村ノ農民戶田清左衛門ノ長男ニテ周
 吉ト云ヘルハ今トシマダ滿四年ノ幼童ナルガ生レシヨリ病ニ煩ヒシ
 一ハ一日モ無ク身ノ内肥エ太リテ長ケハ十餘ノ童兒ト云フモ好
 キ程ナレバ先キ頃口身体ノ目方ヲ秤リシニ十六貫八百目アリケリ兩
 親モ始メテ打驚キ是ハ尋常ノ小兒ニアラズト猶モ寵愛シテ日チ送ル
 ウチ此程堅田ニ大相撲ノ興行アルヲ聞テ村ノ人々ガ是非ニ土俵入り
 チサセテ吳レロト頼レ望マシカラヌ事ナガテ辭スルニ術ナクテ其意
 ニ隨ヒシニ斯クト聞クヨリ近郷近在ノ者共ハ仁王童子ガ土俵入チヌ

モノミガヨ
 クトレル
 情弱
 ヤウ
 ヤウ
 テアツイ
 工織
 開織
 奇トス
 ノト
 スル
 ガヘ
 ダス
 ツカ
 物
 供用
 ヨウ
 スル

ルゲナ是ハミセノシヤツト毎日々々木戸ヲ打ツホトノ大入りナリシ
 ト然レバ事ヲ好ム者ハ清左衛門夫婦ニ勸メテ此子コソ天カラ力士ニ
 セヨトテ生ミ付ケ給ヒシナラメ早ク能キ角力取ノ弟子コソ横綱デモ
 張ラセル様ニスルガ上分別ナド、云ヘド清左衛門ハ近村ニ聞ヘタル
 豪農ナリ殊ニ物ニ辨ヘタル男ナレバ只ヨキ程ニアヒシラヒ六才ニモ
 ナラバ學校ヘ入レ一人前ノ讀書ヲ習ハセ傳來ノ家産ヲ落サセヌコソ
 我等ガ志シナレト夫婦共ニ周吉ノ成長ヲ樂シミ居ルトツ
 警視日夜報竊盜訴九十九戸同捕縛四人犯罪捕縛二人同送致十八強盜訴二
 戸負傷者一人迷兒一人出火消留一戸
 十九日 土曜日 正午寒暖計六十三度
 昨十八日內務省中地租ノ演說アリ教師ハ大藏省御雇獨國マイエツト
 氏ニ聽衆ハ地租改正局ノ奏判任官ナリ
 一昨十七日秋田點視トノ租稅局一等屬山崎潔同八等屬橋本明義ヲ新潟
 へ同ヒ等屬村上知光同十等屬廣島亮造ヲ茨城へ派遣ス
 陸軍少佐岡本柳助少尉內山某曹長梁田某過ル十六日ヲ以テ官位ヲ視奪
 セラル
 大藏省關稅局本年七月ノ各港輸出入月表ヲ編纂ス本月中内外貨幣輸出
 四十七萬七千八百五十六圓三十錢五厘、外國貨幣輸入三萬五千七百七
 十四圓五十錢、輸出全計百九十七萬五千四百一錢六厘、輸入全計二
 百七十七萬八千七百六十四圓八十三錢五厘、輸入超過八十八萬三千六百
 五十圓八十一錢九厘、收稅通計二十萬八千八百二十二圓九十八錢八厘、外
 國入港船舶通計六十一艘(此噸數五萬六千六百四十九噸)外國へ出港ノ

日

乘

場トバ○三
 等トサ○種畜
 所カフバシヨ
 ○殘餘ノコ
 販賣ウ○引接
 ヒ○糾問トヒ
 ○四旬餘
 四十日○刑
 場○監
 倉○銃殺
 テツボウ○収
 没カギリ○
 ○興ニ乗ズ

船舶通計六十二艘(此噸數六万二千二百二十一噸)
 昨十年内國勸業博覽會事務經費總額ナ聞クニ十方六千三百四十圓ナリ
 ト兵庫縣新ニ神戸警察署ヲ建築ス其製洋風費千八百圓ナリト云フ
 西京府廳有田常七ヲ賞ス常七八同府下丸屋町加藤四郎ノ雇人ニ直實
 主人ニ事ヘ永年忠義ヲ尽セシヲ以テ此賞アリト云フ
 下總香取植生兩郡到ル處桃李皆花キ爛熳春色ヲ呈ス
 大坂府衛生局註違條目ヲ府廳ヘ上申ス大意腐敗物汚穢物ヲ人力車ニ積
 載スルハ乘客ノ健康ヲ害シ惡疫流行ノ源ヲ爲スヲ論スト
 横港洋銀市價ノ騰貴開港以來未ダ有ラザル所ト
 道路ノ說ク處ニ據レバ裁判所ヲ琉球藩ニ置藩民ノ訴訟ヲ判スト
 東京府病院教師マノンク武雷篤病ノ死者ヲ解剖ス死者姓ハ福岡名ハ
 コト神田餌島町六番地古谷徳三郎ノ同居年齡四十九年五ヶ月該病ニ罹
 ルハ六月中旬ニ在リ當時漢方醫ニ委ノ効ナシ本月十日本院ニ入り終ニ
 十六日ヲ以テ死ス在世中習テ遺シテ此事ヲ乞フ遺書ニ云ク
 私儀本年五月頃ヨリ病氣ニ係リ相臥ガナニ罷在同七月上旬ヨリ身休
 左ノ方ヨリ水氣ノ症ニテ漢家ノ醫員ニ依頼及ヒ服藥ヲ相用ルト雖モ
 更ニ其驗ナク如此ハ本復無覺束心得左候ヘハ入院致シ御手當ヲ請居
 リ至快止度萬一天命ニ死亡ノ後ニ至リ候時ハ解剖請ケ後年同病患
 者ノ爲メニモ相成候ハ、兼テノ志願ニ付死後解剖被成下置度此段奉
 願上候也
 明治十一年十月八日
 調查局日本政表ヲ編纂ス事明治七年ニ係ル
 右 福岡 こと

オモシロク光
 キイキ
 輝ヒカ
 ヒラ
 メク○溪谷ニ
 ○周圍マワ
 吹籠クビツ動靜
 ヨウ○慮慮
 ○未相クハ
 ○逝矣○迂路
 直行マワリ
 マツスグ○荆
 ニユク
 棘猛進ノ中
 チカマハ○顛
 ズスハム○冷
 未ヨウス○冷

密祝日夜報 (之ヲ洩ス)
 廿日 日曜日 晴
 柴原千葉縣令太政官ノ召ニ應シ頃日上京 正午寒暖計六十六度
 判事古莊嘉門本官ヲ免シ位記ヲ返上セシム
 元老院會議西洋形水先規則ヲ決定ス
 本月六日盜開拓使函館支廳出納課ニ入り官金千圓ヲ取ル
 昨十年鹿兒縣被害義救ノ爲メ官吏俸給蠲集ノ事アリ其告文ニ曰ク本
 年二月以來我鹿兒島縣下未曾有之擾亂ニ罹リ士人ノ奔命ニ疲レ黎庶ノ
 杼軸ニ竭キ塗炭ノ苦ニ茶毒ノ害其悲惨言フベカラザル情况タル世人ノ
 親シク知ル所ニシテ今細カニ之ヲ贅スルヲ竣スト雖現ニ其境ニ落ミ其
 實蹤ヲ踐歷スルニ至テハ豈之ヲ忍然默止ニ付スルヲ得ンヤ就中士族ハ
 脅迫ノ餘各地ニ轉戦シ其家眷ノ如キハ家ヲ燒カレ産ヲ失ヒ老若ハ溝壑
 ニ轉シ壯丁ハ四方ニ奔竄シ流離困難比々皆然リ幸ニ禍亂平定ニ及フ
 モ垣屋ノ風雨ヲ覆フナシ衣食ノ餒凍ヲ免ル、ナシ兒ニ離ル、ノ翁媪夫
 ナ嬰フノ婦婦憂天ニ原野ニ號泣啻ナラズ加ルニ前日縣内ニ貴重セラ
 レ豪族名門ノ夫妻ト稱セシモ今ニ備役ノ賤業ヲ執リ降テ下民ニ驅使
 セラレ道路負載スル者アリ其疾痛艱楚果ノ如何ソヤ一念斯ニ至ル毎ニ
 人ナシ涕淚ノ頤ニ交ルヲ覺ヘサラシム是ヲ以テ政府夙ニ撫養救恤ノ典ヲ
 舉行セラレ被害ノ人民ナシ回死肉骨ノ惠澤ニ浴セシムト雖抑此撫恤
 ノ金額タル其間接ニ於テハ全ク我皇國三千餘萬ノ膏血ヨリ滾出スル者
 ニシ即チ全國人民ガ手自ラ救恤スルト何ソ異ランヤ况ヤ我同郷同里ノ
 如キ數百年來共ニ西陲ニ膚近シ嫁娶相通シ患難相助ケ以苦樂ヲ同フセ

日 乘

笑アザワ ○語
 氣平々トキハ
 イ ○状態
 マ ○購求
 ○保釋
 テモラフ ○
 管守アリマモ
 ○無罪放免
 ニ歸スツミナ
 サレルミウ
 ニナル
 ○警報
 ○洵々

ザルナシ縱令彼我血屬ノ因ナキモ之ヲ前古ニ溯レハ姻戚ナラザルナシ
 之ヲ今日ニ求ムレハ朋友故舊ニアラザルナキ深ク親愛スヘキ恩義ヲ存
 スル人々目下無限ノ災害ニ罹リ疾痛困難彼カ如ク泚額酸鼻此ノ如キ
 ノ域ニ處シ獨リ政府即全國人民ノ救助ノミ是レ仰キ忽然坐視ノ痛痒ノ
 相關セサル泰越一般ノ觀ヲナスニ忍ンヤ因テ今斯ニ諸君ト同心協力相
 共ニ俸資ノ幾分ヲ醜集シ授産厚生ノ資本ニ充テ聊カ憂患ヲ萬一ニ扶持
 セハ一者同貫ノ友誼ヲ全フシ一者風化ヲ裨補スル所アルニ庶幾カラン
 諸君幸ニ此意ヲ諒セバ冀クハ區々ノ畫措ヲ助ケテ以テ損資ノ盛舉アラン
 一ヲ若シ將ク此義ヲ以テ分外ノ舉トナシ政府己ニ撫恤ノ典アリ何ゾ更
 ニ ○等ガ區々ノ貂續ヲ煩ハサンヤト云ハ、則 ○輩ノ敢テ知ル所ニ
 非ルナリ其扶持方法ノ如キハ固ヨリ諸君ト公議決定スヘシト雖モ今試
 ニ醜金ノ概見ヲ陳述シ公議ノ參考ニ供スル左ノ如シ(方法略ス)
 公立千住學校新築落成費用三千圓聞ク不足千圓ヲ生ズト困苦想フベシ
 大坂府裁判所九月中刑事課ノ處分ニ出ルモノ七十一件ナリト又懲因總
 數凡千人内終身囚六十一人十年囚二百廿餘人ト云フ
 秋田縣下横手電信本日開局
 東京府知事代言ヲ英人ビートン氏ニ托ス露國領事ノ我ニ係ル訴訟ヲ爲
 スニ因ル
 警視日夜報竊盜訴六十八人同捕縛五人犯罪送致八人迷兒一人
 廿一日 月曜日 晴 正午寒暖計七十二度
 項日埼玉縣令同地博物館ヲ保存センコトヲ上申ス其略ニ曰ク天造人造ナ
 論セズ差向縣内ノ物産ヲ蒐集シ常ニ民庶ヲ之ヲ縱覽セシメ智識ヲ漸

モノサ ○可憂
 ノ勢 ○心
 ○實功
 ○大幸
 ○疾視
 ○暴言
 ○空言
 論ムダゴト ○
 就産アリツク
 ○實學
 ○漸次
 ○胸襟
 大ニシケンチ

進シ物産繁殖ノ基礎相立度就テハ物品陳列所モ最早落成ニ付九月十七
 日ヨリ十一月六日迄五十日間開場致シ民業勸誘ノ爲メニ取設候儀ニ付
 埼玉假博物館ト稱呼シ永ク保存致シ度云々
 九月ニ在リテ東京府廳ノ手ニ掌ル所ノ公債券ヲ開クニ金祿公債證書ノ
 九月ニ越シ高四千六拾萬三千二百四拾圓管外ヨリ轉入百拾九萬七拾圓
 管外ニ轉出三萬六千二百八拾五圓管内ノ賣買三千二拾八萬百八拾五圓
 十月ニ越シ高四千七百七拾五萬七千廿五圓此ノ越シ高ヲ比較スレバ增加
 百十五萬三千七百八十五圓又新舊公債証書ノ九月ニ越シ高千八百八拾五
 萬八千二百五拾圓管外ヨリ轉入六拾三萬八千七百七拾五圓管外ニ轉出
 三萬五千五百七十五圓抽籤ニ由テ減セシ秩祿公債証書四拾九萬六千二百
 圓管内賣買ノ分百五拾六萬五千七百七拾五圓十月ニ越シ高千八百九拾六
 萬九千二百五十圓ナリト
 警視日夜報竊盜訴八十六人同捕縛十三人犯罪送致十六人人命救助二人
 變死二人迷兒二人出火消留一人
 廿二日 火曜日 晴 正午寒暖計六十五度
 東京横濱間瀛車ノ乘客先月中ノ總額ヲ聞クニ拾一万五千六百八拾四人
 ニシテ内小兒ノ分三千四百十四人ナリト而シテ其収獲賃金二萬六千五百
 八十三圓七錢五厘ト外ニ貨物賃金四千八百六十四圓八錢五厘ナリト云
 フ
 府下勸工場ハ永樂町ニ在リ近ク古器ノ縱覽場ト益裁ノ陳列所ヲ設ケ有
 志ノ購求ニ任スト云フ
 伊國留學生佐々木三六氏ハ内務勸農局佐々木少書記官ノ次子現ニ該地

日

第二十九号

ヒロシ大 ○確
 キニシテ ○嘴矢
 手カリ ○自家
 ハジメ ○遺法
 シカタ ○刻苦
 ホチチ ○至具
 オル ○至具
 コノウヘモ ○
 ナキダウグ ○
 ナキダウグ ○
 賞賜 ○
 提携 ○
 アフテ ○路傍
 ミチ ○急忙
 キアハ ○浮沈
 テル ○
 出沒 ○

ノ萬國學校ニ在リテ需學ヲ修ムト頃日同校ノ教官其弟カシミロフエ
 ーリガ商事ヲ以我國へ渡航スルノ序同氏ノ畫キシ圖ト自テ書スル書翰
 トナ齋シ其進歩ノ著シキヲ賞賛シタリト其譯文ニ曰ク予我が萬國學校
 ノ長官ノ旨ヲ奉シ今同卿ニ托シ日本へ齋ラサシムル所ノ圖畫ハ是レ同
 國人佐々木生ノ揮毫ニ係ル所コソ曾テ本校大試験ノ節審査委員ノ品評
 ナ經シ所ノ者ナリ我カ校長官ノ望ム所ハ卿ガ東行ノ舉アルナト時トシ卿
 ニ依テ以テ之ヲ該生ノ二親ニ寄送シ親ク愛兒ノ如斯優等ノ進歩ヲ目撃
 セシムルニアリ因テ切ニ望ムラシハ卿彼處ニ到ルノ節其二親ニ予ガ祝
 賀ノ切ナルヲ告グルアラソナチ予平素佐々木生カ銳意文學ニ精勵スル
 ナ見テ感スルノ最ニ深シ是ニ於テ今委員カ第一等ノ褒賞ヲ授與セント
 スルヲ見其議ヲ贊成シ得シハ眞ニ予ガ喜ニ堪ヘザル處ナリ曾テ該生カ
 草セシ所ノ文意ノ章ヲ閱スルニ其才識ノ煥發自ラ其章句ノ間ニ彰ル他
 日大ヒコ我學校及ビ該生郷國ノ面目ヲ起スベキハ目ヲ刮ツテ見ツベキ
 所ナリ其際寫ノ圖畫ハ又生ガ之ヲ模寫スルノ能工アルヲ徴スルニ足ル
 余該生ガ該進歩著明ナルヲ喜デ之ヲ賞讃スルノ數次今一步ヲ進メ卿ガ
 外遊ノ學アルヲ時トシ卿ニ依テ以テ其同邦ノ衆庶ニ示スニ我學校ハ十
 年以來各國ノ少年ガ欽慕シ來ツテ高尚ノ學術ニ從事スル良校タルヲ以
 テシ苟モ學術ヲ研窮セント渴望スルノ輩ハ佐々木三六生ノ美果アルヲ
 見テ競フテ來學セント欲スルノ志ヲ鼓舞スルヲ予翼望ス我ガ閩族舉テ
 卿カ幸ヲ祈ル
 天城縣釜山浦ヲ發シ崎港ニ達ス
 司法省頃日訴訟問題ヲ各裁判所ニ頒ツ該書ハ訴訟ノ曲折スル者ヲ蒐輯

ハイツタリ
 ○汲器
 収税
 ヤ ○精
 ノウ ○麥酒
 ラベ ○船載外國
 ル ○釀法
 ツミ ○配偶
 シカマ ○
 フウフコナ ○
 ルアヒテ ○
 生計 ○
 針ハリ ○
 カナハリ ○
 ノコト ○
 イツ ○

シテ各判事ノ意見ヲ問フモノナリト
 神奈川縣令去十九日答辨書ヲ東京上等級裁判所へ出セリ該事ハ同縣下中
 藤村社地ノ訴ニ係ル(訴訟ノ起源ハ都鄙日乘八月廿六日ノ日下ニ載ス)
 魯國在留榎本公使昨廿一日ヲ以テ玄武丸ニ搭シテ歸朝ス
 警視日夜報聞キ泄ラシツ
 廿三日 水曜日 晴 正午寒暖計六十六度
 警視局布令回達法府廳ニ倣フト其法各區ニ負擔人ヲ置キ五十戸ヲ連結
 シテ之ヲ行ハシム
 和歌山縣下日高郡近傍頃日疫症大ニ行ハル
 頃日教導團歩兵科生徒卒業スル者四百四十名アリ内三十名ヲ以テ電曹
 ニ拔擢シ其他ヲ伍長ニ擧テ各鎮臺へ配付スト
 奧地ノ報開拓使管下千島國振別郡ニ巨大ノ鱒ヲ獲タリ其長サ三尺五寸
 余ニシテ巾一尺アリ其珍奇ナルヲ以テ贈盤マテ東京博物館へ回送セリ
 鳥岩手縣令去廿日ヲ以テ上京セリ蓋シ事郡區編制ノ件ニ係ルト
 三重縣勢州桑名近傍窒扶斯病大ニ行ル故ヲ以テ今回巡幸ノ路次俄ニ江
 州ニ轉シ全ク其地ヲ避クト云フ
 去廿日本草會ヲ淺草公園地ニ開ク出席人廿八名出品凡百種後會來月第
 二日曜日ヲ期スト云フ
 警視日夜報竊盜七十四戸同捕縛二人犯罪捕縛四人同送致十四人變死
 三八
 廿四日 水曜日 雨 正午寒暖計六十六度

日 乘

老イッマデモ
トシチ志節
コノロダ煤
テミサホ例
始ナカ例
規キマ仁憲
文チ移アルオ
オキテノカ
結婚レイ慈
親オヤ貫
籍ベツ閱覽
ゴラ市場
ウリカヒ
スル市
供用ツカ

佛國在留人ノ寄送ニ係ル彼ノ國新聞中博覽會場我國産ナ品評シタル事
項ノ抄譯ヲ見ルニ曰ク今日我國萬國博覽會ノ舉アルニ當リ各國ヨリ其
場ニ臨マル日本帝國ハ東洋ノ一ニシテ其陳列場ヲ見ルニ品類數萬ニ
其産出ノ佳ナル製作ノ美ナル既ニ其業ノ獎勵ヲ徵シ將來興隆殷富ノ期
果シテ埃ツベキナリ實ニ日本人民ノ電勉ナル能ク其奮勵ノ効ヲ奏セリ
今陳列品類ヲ逐一述ブルニ先ヅ事務長官大藏大輔兼勸農局長松方正義
君ニ一言ヲ呈セズンハアルベカラズ君ハ鹿兒島縣ノ人ニシテ薩州ニ
生レ幼ヨリ群兒ニ超出シ長スルニ及シテ志氣剛毅深ク天下ニ注目シ觸
視スル所ノ形跡ニ拘ハラス廣ク宇内ノ大勢ヲ洞察シ夙ニ勤王ヲ首唱シ
テ起リ遂ニ維新ノ鴻業ヲ贊成シ以後廟堂ニ立テ顯職ニ居リテ國家ノ爲
メニハ身命ヲ惜マズ實ニ君ノ其ノ職務ニ勉勵セラル、コト全ク其任ニ
適スト云フヘシ云々
英人ローアル氏債金請求ノ控訴ニ由リ東京上等裁判所ニ於テ去廿一日
備主ノ命令ニ背キタルノ責メ免レ難キヲ以テ原告ニ於テ債金要求ノ權
利ナキモノ云々判決セリ同氏ハ嘗テ明治八年五月ヲ以テ三菱會社金川丸
ノ船長ニ任シ支那上海ニ航スルノ際豫テ水先案内人ヲ雇フベキ同社ノ
命アルニ背キ其河口ニ於テ其船體ヲ破損セリ依テ同六月八日同社ニ於
テ其備期中ヲ論セズ約ヲ解キテ謝斷セリ此ニ於テローアル氏其處置ヲ
不當ト爲シ滿期ニ至ル給料並ニ船長ノ名譽ヲ害シタル債金合計五千三
百五十圓ヲ要求シ神奈川裁判所ニ訴フ同所審理ノ末原告ノ訴訟不成立
旨判決セリ然ルニ尙ホ之ニ服セズ此ノ控訴ニ及ヘリト云フ

接骨術ツギ
ノハ○醫術
ヤウ○板壁
○貼付
老疾ヤミ○看
護者ヤウ人
十八日○開院
カイ○貴紳
ゲフ○陪宴
ヤウ○延見
ヤウ○刑行
アセテ○採
ソヌツ○採
ソスル○採
用テリタ○例

警視日夜報竊盜訴六十四戸同捕縛二人犯罪捕縛二人同送致三人藥兒五
八人命救助一人變死一人強盜訴一戸
廿五日 金曜日 晴 正午寒暖計六十四度
昨廿四日元老院會議渡邊大書記官内閣委員ノ命ヲ以テ出席セリ
巴里在留松方總裁ヨリ本月廿二日發テ以テ左ノ電報ヲ爲セリ曰ク昨日
賞牌授與式ヲ執行ヒタリ日本出品人カ得ル所ノ名譽賞狀八、金賞牌十
九其他ノ賞牌及褒賞狀百九十三アリ云々
開拓使物産課アレケルビール(冷製麥酒)ヲ釀造セリ一名曰耳曼麥酒ト
云フ尋常ノ製ニ異ナリテ大ニ健胃ノ功アリト云フ
大坂ニ奇婢アリ其名ヲヒト呼フ紀州牟婁郡木ノ本浦ノ産當テ同府病
院長高橋氏ノ婢トナル是ヨリ先キヒ以テ爲ラシ女子タル者ハ一旦他ニ
客作シテ許多ノ辛苦ヲ嘗メ世間ノ事情ヲモ知ルコト非レハ許嫁ノ日忍耐
ノ力薄ク他人ニ事ルノ難キヲ知ル能ハズト是ニ至テ其志ノ如クス嗣後
常ニ同家ノ業体ヲ欽慕シ終ニ産婆ノ學ニ志シ同院藥局ノ書生某ニ請フ
テ書ヲ讀ミ薪炊洒掃ノ餘孜々兀々勉強ラズ遂ニ解剖學ヲ卒業スルニ
至ル適マ同院本月十七日ヲ以テ試驗ノ舉アリ生徒十有五名ニ此ノ中
ニ在リテ優等衆ニ超絶セリト願フニ八爲ノ良否ハ志ノ初候ニ在ル者乎
廿六日 土曜日 晴 正午寒暖計六十三度
元老院議事判任ノ傍聽ヲ許ス蓋シ從來許ス所ハ奏任以上及華族ノミナ
リ因テ近ク傍聽牌ヲ各官省院使廳ニ配付セリト云フ
文部省傳習所ヲ一ツ橋通町ニ設ク教師リラント氏ヲ雇ヒ伊澤修
次氏ヲ以テ主幹ニ任ズト

日 乘

祭マツリノ
共計ソウカ
ウ 超過ス
ル 街衢壯麗
マナガキイ
レデ大キイ
商舖具備
ナヒミセガ
ロツテ居ル
製糸トリ
商況シヤウ
マサ一變
カハ一變
リ 収縮
ル 細民
トダチ 古來

八月中各港輸出品原價全計二百二十一萬二千四百五十圓廿一錢三厘輸
入品原價全計二百八十二萬八千五百五十一圓四十六錢二厘輸入超過六
十一萬六千一百一圓廿四錢九厘輸出入稅倉敷手敷料等總計二十二萬三千
七百八十三圓六錢三厘金銀貨幣ノ輸出五十三萬四千五百四十四圓三十一
錢同輸入三十三萬五千五百十二圓
坂地ニ於テ秩祿公債券ノ當籤ヲ聞クニ府下人民ノ所有ニシテ元利總計
十萬八千八百八十六圓五十錢此內譯七年發行ノ分二萬八千七百五十圓
利子千七百廿五圓八年發行ノ分同七萬三千九百五十圓利子四千四百三
十五圓九年發行ノ分廿五圓利子一圓五十錢ナリト
廿七日 日曜日 晴 正午寒暖計六十八度
警視監獄署本月廿四日調懲役人男三千九百五十八人女六十一人禁獄男四十
八人若使男二八女廿八人懲治男四百八十八人女四十七人未決男二百廿五人女
七人
府下第五方面警吏毎土曜日質問會ヲ開キ專ラ警察法ヲ研究シ實際ノ事
務ヲ質問スト云フ
聞ク司法省類聚法規ヲ發行スト蓋シ慶應三年以來ノ緊要的ノ公布ヲ類
集セシモノナリト
警視日夜報竊盜訴百人同捕縛五人犯罪送致十四人同自首一人變死三人
負傷者一人迷兒七人
廿八日 月曜日 晴 正午寒暖計六十八度
陸軍士官學校附屬幼年生徒本年以降軍人ノ戰没ニ係ル孤兒ノ外召募セ
スト云フ但シ從前ハ一般人民ノ志願ニ任セリ

ムカシ 貿易
進取 カウエキ
ヘデ ハモ
ウケル 綿
頭サキ 紡
織 イトツギ
ハタオリ
工銀 セン
漸ク低シ
ス イ官
衛シヨ 優劣
マナガキイ
茶ノミ 尋
常 ヨノ 豪
農クシヤウ

岡本少佐曩キニ舊陸軍省陣具庫中ニ拘留セリ其親戚同省會計軍吏補堀
田誠一井田孝典ノ情願ニ由リ去ル廿五日ヲ以テ自宅禁錮ヲ命ズ
崎港廿四日附ノ電報虎列刺新患者五名死亡八名全治三名治療中八十一
名又廿五日附新患者三名死亡五名全治四名治療中七十四名
廿九日 火曜日 晴 正午寒暖計七十四度
府下ノ産ミ籍キ者本年警視本署第五十一号布達ニ依リ監獄第二支署へ
送附スルニ定ム但其從前分署ニ於テ審査シ區務所へ交付セシ慣例ナリ
佛國巴里博覽會觀客漸次增加本月四日水曜日ヲ以テ算スルニ九萬九千
十七人ナリトス九月廿三日ヨリ本月五日ニ至ル日本列品ノ賣高總計六
千十七佛五十仙ナリト該地在留事務官ノ報
秘魯國ハバーベル曩キニ本府知事ニ對スル中野三太郎等ヲ抑留シタル
告訴一件我知事去ル廿四日ヲ以テ答書ヲ同國領事ニ出セリ
卅日 水曜日 晴 正午寒暖計六十八度
神奈川縣下耕地地改租ノ不公平ヲ訴フル者數村アリ縣令ノ命ニ服セズ
頃日總代十三名ヲ撰ミ地租改正局へ歎訴セシト云フ其村ハ第十七大區
六小區瀬谷村二ツ橋村宮津村同七小區和泉村八小區深谷村汲澤村等ナ
リ
大坂區畫ノ稱ニ方位ノ号ヲ冠セリ即チ第一大區ヲ東第二ヲ南第三ヲ西
第四ヲ北大區ト稱ス
卅一日 木曜日 曇 正午寒暖計六十一度
鹿兒島縣下今春以降眞宗ニ歸入スル者勢ヒ日ニ甚ク正邪ヲ辨セザルニ
至リ縣令左ノ諭達ヲナセリ近來眞宗門徒ノ者共間ニハ老若男女混淆シ

日

乘

